



受け継ぎ、そして変えていく 夢に寄り添うまちづくり



Message

代表取締役

倉見 忠人

くらみ ただひと

Profile

1968年に瀬棚町(現・せたな町)に生まれる。東京の専門学校で不動産について学び、1989年に実父の倉見卓司が経営する同社に入社。1995年、取締役役に就任。専務取締役を経て、2015年に代表取締役役に就任し、今日に至る。



▲ 社長室には出身地せたな町の名勝「三本杉岩」の絵画が飾られている。



▲ 社内は少数精鋭で勤続年数も長くチームワークも良い。

道内屈指の実績で室蘭・登別地区No.1 住まいづくりのプロフェッショナル

当社は室蘭市・登別市を中心とする地域に深く根ざし、土地の売買から宅地の開発・分譲、住宅の建設・販売、賃貸アパート経営まで含めた建設業と不動産開発を手がけ、まちづくりに携わってきました。おかげさまで同地区における年間建築確認申請数は7年連続トップ、アパート建築棟数も2024年度に東京・札幌等の大手企業と並んで道内ベスト10にランクインしています。

私は創業者である父から、この仕事は「お客様の夢を叶えるお手伝い」であると教わりました。家は単なる建物ではなく、大

切な人と幸せな生活を送って行くための場。だからこそ、長年培ってきた目利きの力でよい土地を選び、イチから造成して新たな住宅地を創出することにこだわっているのです。結果として、お客様が土地探しに費やす手間や時間を省き、住まいづくりへの第一歩をスムーズに踏み出す後押しになります。その後も資金面のご相談や設計・工事、お引き渡し後のケアまで一貫して担い、理想の暮らしの実現に寄り添っています。

ぶれない信念と感謝を胸に 時代を見つめ、変革を続ける

先代から社長を引き継いで10年が過ぎましたが、この間にも世の中の状況は

刻々と変化してきました。来年には設立50周年を控え、長きにわたり地域の皆様から厚い信頼をお寄せいただいている当社ですが、それに甘えてばかりでは時代の波に取り残されてしまう。ですから社員の話に進んで耳を傾け、新しい価値観や行動様式にも柔軟に対応できるよう努めています。たとえば、社員の意見を取り入れて公式インスタグラムを開設したところ、若い世代のお客様から予想以上の反響をいただき、実際に受注にもつながっています。

守るべきものを守り抜きながら、変えるべき点は大胆に変えていくことが、長く続く企業の条件であるという話を聞いたことがあります。当社で言えば、創業者から受

け継いだ家づくり・まちづくりにかける情熱と、お客様や協力業者の皆様への感謝の気持ちは、いつまでも変わりません。一方で、それを具体的なカタチにする方法や技術については絶えず見直し、更新を図るように意識しています。

事業エリアについても、あくまでホームグラウンドである西胆振に軸足を置きつつ、今後はお客様のニーズに応じて札幌圏など人口集積地にも視野を広げていく方針です。

確かな営業力と技術力で 家とまち、暮らしをトータルに支える

昨年は登別市富岸町で11区画のニュータウンを造成し、販売を開始しまし

た。通学や買い物にも便利な好立地とあって、滑り出しは順調です。なお、その前から分譲を進めてきた同市緑町の13区画、室蘭市日の出町の19区画についてはすべて完売となりました。

今後の展開としては、今年7月ごろから室蘭市水元町に11区画、年内には高砂町にも17区画の新たな宅地開発をスタートする見込みで、同地区は文教地区でもあり、子育て世代にもすぐしやすい環境が整った場所となっております。また、蘭東地区で自社物件の賃貸アパートの新規建設も計画しています。近年は法人向けのビル建設・賃貸についてのご相談も増えていますので、宅地開発を通じて磨いてきたまちづくりの技術やノウハウを生

かして誠実に対応していきます。

昨年、法改正による建築確認申請業務の煩雑化や建築資材の高騰など、業界を取り巻く情勢には厳しい面もありますが、歩みを止めるわけにはいきません。それが私どもが50年間守り続けてきた企業としての地域に対する使命感であり、先代との約束だからです。

理想の住まいを求めるお客様のニーズは、常に存在しています。ご要望をきめ細かく聞き取り、予算の範囲内で最善の道を探り、家づくりの先にある暮らしまで見据えた提案を行う営業力を強みに、当社はこれからも「夢を叶えるお手伝い」を続けていきます。